



「ささえ～る」

広報委員会

※『ささえ～る』とは、「佐々木」・「ささえる」・「エールを送る」の意味を込めた造語です。

作業療法
作品展



佐々木病院



理事長・院長

菊野 恒明

この10月で医療法人社団重仁佐々木病院の理事長に就任して満3年になります。これまでの3年間、「医局のマンパワーの充実」ということを言い続けて来ました。昨年11月に川村剛副院長を迎え、去る4月には中村主計（かずえ）診療部長を迎え、ようやく念願がほぼ到達された感があります。

病院の次なる目標は「教育」であると機会あるごとに言っています。医療・精神科医療の未来は流動的でまだはっきりした姿が見えません。国民皆

保険制度のもと医療国営に近い形で行われている日本の現状では、国の方針に歩調を合わせながら、バランス良く病院を運営していく必要があります。将来、国が精神科医療のあり方をはっきり打ち出した時に、それがいかなる形のものであろうとも円滑に対応できるように、今はマンパワーの質の向上、「教育（学習）」に重点を置いて、色々な意味で力を温存していくべき時期ではないかと考えております。

【特集】アンダンテ

この施設が「アンダンテ」という名前を頂いてから、3年が経とうとしています。平成10年開設当初はデイケアだけのスタートでしたが、より多くの利用者様のニーズにお応えするため、3年前より「ショートケア」「デイナイトケア」も始め、ちょっとの時間だけすごしてみようと思われる方から、ゆっくり過ごしたい方まで、選択肢が広がりました。



また、利用者様が地域で安心して暮らすことができるよう、家族支援の活動にも力を入れて参りました。年に4回家族会を開催し、様々な分野の講師をお招きして一緒に知識を深めたり、ご家族様同士が気持ちを分かち合う場を提供したりしています。ご家族の方々のご協力もあり、今年9月に15回目の開催を迎えることができました。

さらに、当施設は南富山駅より徒歩15分ほどのところにありますが、通所の際に利用者様の負担を少しでも和らげたいと思い、南富山駅まで車で迎えに上がるサービスを始めました。

最近では、希望者を募って古洞の森にバーベキューに出掛けたり、疾患別のプログラムを行うな

ど、グループごとの活動を試みています。

当施設はこの15年少しずつ変遷を遂げてきましたが、ここに至るまでたく



さんの方の関わりや思いがありました。これまでご協力頂いた皆様に感謝しております。これから先も、いろいろな方々の気持ちの詰まった施設づくりを心掛け、ともに年を重ねて参りたいと思っています。今後ともご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

アンダンテ主任 高松



毎月「アンダンテだより」を発行しており、外来受付に設置してあります。また、ホームページからも閲覧できます。興味のある方は、是非ご覧ください。

部 署 紹 介

南・西1階病棟

南・西1階病棟は急性期から慢性期までの方が入院されている女性閉鎖病棟です。医師をはじめとする様々な職種のスタッフが連携を図り、一人ひとりの患者様にあわせた治療、看護にあたっています。急性期の患者様には、症状の安定を図り、早期の退院もしくは開放病棟への転棟の支援を行います。慢性期の患者様には、安定した入院生活を送られるよう援助を行っています。



【 作品制作風景 】

当病棟は、幅広い年齢の患者様が入院されているため、ケアは精神面だけに終わらず、身体・生活面でのサポート及び安全性にも十分配慮が必要です。時には優しく時には熱心に対応する、そんな経験豊かなスタッフが患者様の力になろうと日々頑張っています。また、病棟内には患者様が制作した作品が多数展示されており、入院生活に彩りを添えています。

看護師長 町野

新入職員インタビュー

水野さん（看護師）

- ① 職員、患者様がしっかりと挨拶ができ明るい雰囲気のある病院。
- ② 食べること。飲むこと。そしてちょっぴりジョギングすること。
- ③ デイケア職員としてスムーズに社会復帰できるように看護師・ケアマネの経験・知識を活かしながら社会資源も提供してゆきたい。

今村さん（薬剤師）

- ① 若い活力ある職員の皆様からなる病院だと感じました。又よく勉強しておられると思いました。
- ② ザル碁を脱出しようと学習中。時々地元のパターゴルフにつき合っています。野菜作りも一年生です。
- ③ 薬剤師として勉強中で、調剤技術を取得し病院薬剤師として若い方についていきたいと思っています。

松島さん（看護師）

- ① 患者様・スタッフ共に明るく笑顔の多い病院だと感じました。
- ② 釣り（溪流・海とも）、クライミング
- ③ 一日一日を大切に、患者様がすごしやすいように、患者様のニーズ・想いに沿った関わりをしていきたいです。

①佐々木病院の印象は？

②趣味は

③今後の抱負を一言で！



瀧根さん（看護師）

- ① 食事がおいしい。
- ② 特になし。何か見つけたいと思っています。
- ③ 患者様の気持ちに寄りそった看護ができるようになりたいと思っています。

湯口さん（看護師）

- ① 明るく、皆様仲の良い職場だと感じました。
- ② 読書
- ③ 患者様の思いに寄りそえるように努力していきたいと思っています。色々と先輩方から教えて頂き自分なりに関わりを持っていきたい。

亀澤さん（介護福祉士）

- ① 明るい職員が多く、とても安心できる環境だと感動しました。
- ② 紅茶・珈琲・読書・映画鑑賞・ダンスなど
- ③ まずはしっかり仕事をおぼえて、その上で利用者様が笑顔になれるような支援をできる職員になります。

新規採用者教育を終えて

講座と部署実習を通して深く印象に残ったことを書こうと思います。

勉強会では、精神的疾患を抱えている人の苦しみは、病気による苦しみだけでなく、周囲に分かってもらえない、受け入れてもらえないという二重の苦しみがあるということを学びました。

病棟での実習では、精神的苦痛は身体疾患とちがいで、目で見てわからない部分があると感じました。しかし、患者様は意思表示がうまくできない場合があり、伝えたいことが伝わりにくいのではないか、また伝えるべきことをスタッフがつかみにくいのではないかと思いました。日頃から話しやすい環境を作ったり、患者様が抱えている問題をいかに引き出すかが大切だということ学びました。

アンダンテでは、ゆったりとした空間づくりやその時その時のシチュエーションに合わせた音楽を流していました。毎日通所することにプレッシャーを感じているという方がおられました。アンダンテのスタッフとのしっかりした信頼関係で通所を続けておられました。また、工作を行う事で感じる喜びや、自信なども利用者様から

伝わってきました。「デザイン画を書くのが好きなんだ。」と嬉しそうに話しながら、何枚もの絵を見せて下さいました。

今回の研修全体の感想として3点感じたことがありました。

1点目は、誰が「上」とか「下」ではなく、スタッフも患者様（利用者様も含め）も「対等」な位置にいて、その上で信頼し合える関係を作っていくということ。2点目は、患者様から発せられる信号をしっかりキャッチすること。3点目は、患者様を先入観のない目で見つめること。上記の3点を実行するために、私にできることは、患者様の立場に立つこと、日々の患者様の表情をよく見ること、話し言葉の中に隠れている大切なキーワードをしっかりキャッチすること、適切な声かけができるように意識することだと思います。課題は山積みですが、出来ることから始めていこうと思います。

フィールドラベンダー指導員 塚田



救 急 研 修 会

患者様の安全と安心を確保する為、全職員が一丸となり「救命救急・窒息予防対策・医療器材の取扱」の訓練を常日頃



【 救 急 研 修 風 景 】

から行っています。万が一にも、患者様が急変したり、差し迫った状況に対応すべく、専門的な知識や技術の向上に励んでいます。

また、質の良い医療を求める社会要請にも応えることも自覚し、全職員が病院の内外も問わず「命を慈しみ合う」ことの大切さを、強い意志を持って貫くべく毎日を精進しています。

看護師 米納

お知らせ

お薬の受け渡しについてのご案内

平成25年12月1日より、外来において「処方せん」の発行をいたします。

国が「医薬分業」制度を推進しており、当院では患者様の利点も考慮し「医薬分業」を実施することになりました。

今後、外来では、医師が治療に必要なお薬を「処方せん」で指示し、保険薬局で薬剤師が医師の指示通りのお薬を患者様にお渡しすることになります。

皆様の、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

- ◆処方せんの有効期限は4日間です。
(土曜、日曜、祝祭日も4日の中に含まれます。)
※紛失されないようご注意ください。

ご不明な点がございましたら、
外来受付までお問い合わせください。

編集後記

季節は秋にもかかわらず、暑い日が続くと油断していると、急に冷え込みが強くなってしまいました。季節の移り変わりに合わせ少しずつ身体を慣らしていきたいところではありますが、ここ最近の天候にはいささか身体がついていっていません。体調を崩される方も多いのではないのでしょうか？

体調管理に気をつけて、スポーツ、読書、そして食欲と短い秋を大いに楽しみましょう。

広報委員会 吉田

暑かった七夕の集いを終えて

8月7日、佐々木病院で七夕の集いを開催しました。

午前の部では、コンプレッサーさんをお呼びしてのマジックショー！患者様にとって間近でプロのショーを観られたことが新鮮に感じられたことと思います。

午後の部では、各部部署で趣向を凝らしたお店を出店しました。猛暑の中、患者様に喜んでいただけたように思います。



今回、私は裏方として参加しました。当日の天候だけが気がかりでしたが、幸い当日は朝から天候が回復し、逆に猛暑となりました。暑い中、職員には頑張ってもらい、委員も感謝しております。

最終的には、いくつか些細な反省点があったものの、患者様に喜んで頂けた七夕の集いだったのではないかと思います。今後も、この様な七夕の集いを企画していく予定です。

活動療法委員 村上



医療法人社団 重仁 佐々木病院

住所 〒939-8073 富山県富山市大町1番地
電話 (076)425-2111 / FAX (076)425-2112
ホームページ <http://www.sasakihp.or.jp/>

精神科デイケア・精神科デイナイトケア・精神科ショートケア
ア ン ダ ン テ

電話 (076)423-2114(直通)

指定障がい福祉サービス事業所

フィールド・ラベンダー

住所 〒939-8073 富山県富山市大町3-4
電話 (076)495-1555 / FAX (076)495-1666
ホームページ <http://www.field-lavender.net/>

